

足から経皮的下肢動脈形成術を受けられる

さんへ 午前

	入院時 (/)	当日 (治療前) (/)	当日 (治療後) (/)	翌日 (/)
検査	採血 血流を調べる検査 	午前 1件目 2件目 3件目 ※順番は、状況により変更する場合があります。 4件目		血流を調べる検査
安静・活動	安静度の制限はありません。 シャワーに入れます。 看護師が時間を調整します。 	安静度の制限はありません。 治療の準備があるため、シャワーはできません。 車椅子で入室します。 医師の指示や身体の動きによっては、ベッドで入室になることがあります。	ベッドで部屋に戻ります。 治療後6時間はベッド上で絶対安静となります。 起き上がりや膝を曲げたりは出来ません。また、お腹に力を入れる行為（咳、いきんだりなど）は避けてください。 6時間後以降も医師の指示によりベッド上安静が必要な場合があります。	安静度の制限はありません。 夕方からシャワーに入れます。 入浴は、治療2日目以降から入れます。
食事	治療食になります。 食べ物を持ち込むことは禁止です。	朝食はありません。 	昼食から食べやすい軽食を用意します。	食事は治療食になります。
治療	入院中も自宅と同じように内服します。 ※ただし、医師の指示により薬が中止や、飲み方が変わる場合があります。	治療前は薬を医師の指示のもと内服し、治療前に点滴を行います。 	治療後合計3本点滴を行います。 	
処置	足の付け根から治療行うため、毛を剃ります。 また、治療後の脈拍を確認するため油性ペンで両足に印を付けます。	治療着・T字帯に着替えて下さい。 肌着は着用しないでください。 指輪・義歯は外してください。 	治療終了後、適宜血圧や体温を測ります。 また、出血の有無や点滴等を観察します。 医師の止血確認後、尿の管を抜きます。	点滴と尿の管を抜きます。
その他	<u>T字帯を準備してください。</u> 外来で渡した検査同意書を提出してください。 	化粧・マニキュアは落してください。 検査後の安静のため、女性は病棟で尿の管を入れます。 男性は検査室で尿の管またはかぶせるものを使用します。	医師から治療結果の説明をします。 ※医師からの説明は、治療後すぐにできない場合があります。	退院前に診察券や薬、次回予約表等を渡します。 10時～11時頃に退院となります。
ご家族	面会時間に制限があります。	基本的に検査・治療結果は医師から本人に説明します。 必要場合は医師から家族へ電話連絡します。		

上記のスケジュールにそっての入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わる事があります。

注2 入院期間については現時点で予想されるものです。

足から経皮的下肢動脈形成術を受けられた患者さんへ

★退院当日は車の運転はしないでください。

★治療後3日間、または傷口がふさがらぬまでは腹圧をかける行動は避けてください。



例えば 4～5kg以上のものを持ち上げる
排便時に強くいきむ など

検査後、時々見られる兆候

- ・穿刺部に不快感が残る。
- ・穿刺部に小さなしこりができる。
- ・傷口から少しじわじわとした出血が

※穿刺部周囲の内出血が吸収されるには数か月かかります。

慌てずに、自宅で
経過観察をして下さい

以下の場合には、速やかに受診をして下さい。

- ・穿刺部の出血が止まらない場合。
- ・足にの冷感や持続する痛みを認めた場合。
- ・穿刺部の持続する痛み、発赤、腫れを認めた場合。
- ・なかなか傷口がふさがらない、発熱、寒気などの症状がみられる場合。